

利用者各位

実験動物センター

マウス凍結精子・胚保存及び個体作製サービス開始のお知らせ

この度、学内専用のマウス凍結精子・胚保存サービスを開始することになりました。このサービスは、現在各研究者が保持されている貴重なトランスジェニックマウスやノックアウトマウスを精子または胚の状態で凍結保存するもので、以下のような利用者にメリットがあります。

1. 今すぐ実験には使用しないが、将来実験に使用する可能性があるため維持飼育し続けている利用者
→ 飼育費や飼育のための労力の節約、飼育スペースの確保などの利点があります。
 2. 産仔出生後の喰殺などで繁殖しにくく、コロニーが絶える可能性の高いマウスを飼育している利用者
→ 代理出産させたりバックアップをとっておくことで、維持飼育中にマウスコロニーが途絶えたとしても保存してある精子や胚から個体を復元することが可能です。
 3. 微生物感染症を発症したマウスを維持飼育している利用者
→ 殺処分を免れない感染症の場合、バックアップをとっておくことで保存してある精子や胚から個体を復元することが可能です。（別途、クリーニングサービスの利用が必要になります。）
 4. 国内外からマウスを譲受・購入・提供される予定のある利用者
→ 生きたままのマウスの搬送には時間やコストがかかりますが、凍結精子または凍結胚で搬入できるため、低コストかつ搬送中の感染症のリスクも低くなります。（事前に実験動物センターにご相談下さい。）
 5. 遺伝子改変マウスの系統を変更するためにバッククロス飼育している、または、異なる遺伝子改変マウスを交配して新たな遺伝子改変マウスを作製しようとしている利用者
→ 自然交配に比べて短期間で多数の目的とするマウス個体を得ることが出来るため、実験期間を短縮することが出来ます。（実験動物センターにご相談下さい。）
- ※ 遺伝子改変マウスを実験に用いる、または実験に用いる予定のある利用者の方は上記サービスによるバックアップをしておかれることをお勧めします。
- ※ しばらくの間は、必要な消耗品購入にかかる実費のみを請求させていただく形で運営していく予定です。

利用方法など、詳しくは下記までお問い合わせください。

実験動物センター マウス生殖工学技術部門

担当：小石・伊井

Email: omemsivf@icloud.com